

【創育クリエートメールマガジン vol.13】 [STEM 教育の潮流 (2)]

2018.7.25 発行

日頃は格別のご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。

本メールは、弊社、創育クリエートが送信元となり、森上教育研究所の協力のもと、教育業界に関するさまざまな情報をお届けするメールマガジン「創育クリエートメールマガジン」です。

なお、本メールは、日頃お付き合いのある、学校関係者様、企業ご担当者様、以前にお名刺を交換させていただいた方へお送りしています。

今回は「STEM 教育の潮流 (2)」です。

ぜひ御愛読いただければ幸いです。

=STEM 教育の潮流 (2) =

STEM 教育の新たな潮流、それは Arts (芸術) がそこに加わったことです。一見すると STEM とは遠いところにあるようにも思われる Arts がなぜ必要なのでしょう。

日本の労働人口の49%が人工知能(AI)やロボットなどで代替可能と言われる時代、人間はAIを理解し、AIを使いこなすことが求められています。こうした社会の変化がSTEM教育を推し進める要因となっています。さらに、AIによって何を成し遂げるのかというシナリオやビジネスモデルを構築していく、創造力がますます重要になってきています。創造力については、これまでも21世紀型スキルの一要素としてその重要性が指摘されてきましたが、それを育むものとして、芸術が注目され、STEM教育からSTEAM教育へと変わってきているというわけです。

こうしたパラダイムの変化の中、音楽教育や美術教育の価値、位置づけが見直されつつあります。教科の枠の中にとどまらず、他の教科とのコラボレーションを模索する動きもでてきています。

芸術、特に美術には、さらに別の要素も期待されています。それが「発見する力」です。

昨年、国立科学博物館において大英自然史博物館展が開催されました。多数の展示物の中には植物や動物を詳細に観察して描かれた博物画の数々がありました。こうした展示物を観ていくと、博物画を描くことによって、そのものの特徴や他種との違いに気づいていく過程がわかります。このような「発見する力」は、博物画のような観察画を描くこと、あるいは描かれたものを鑑賞することによって触発されていきます。そのことは、様々な事象を見たり、情報に接したりする中での問題発見力の育成につながっていきます。

Arts に関わる教育は、共感力を育むことにもつながります。美術の鑑賞や造形、音楽の鑑賞や演奏を通して、対象に共感を持つことは、他者に対する共感性につながり、それはコミュニケーション能力の基盤となっていきます。

AI が進化する時代、それは企業や国といった枠組みを超えて物事が進んで行く時代とも言えます。すでにビジネスの世界では、オープン・イノベーションというかたちでそうした動きが進んでいます。その中で、コミュニケーション能力はますます重要性が増しています。

STEM 教育から STEAM 教育へ。美術や音楽といった芸術教育のありようを、もう一度見直してみたいはいかがでしょうか。

(執筆：森上教育研究所アソシエーツ 高橋 真実)

いかがでしたでしょうか？

本メールマガジンの内容等についてのご意見、アドレス変更、配信停止については、

下記 E-mail アドレスよりご連絡をお願いいたします。

▽メルマガのバックナンバーは下記 URL よりご覧いただけます。

<http://www.soiku-c.co.jp/mailmagazine.html>

■送信元：株式会社 創育クリエート

東京都港区西新橋 3-24-3 川名ビル

T E L . 03-5472-5772

【配信停止・お問い合わせ】

create@soiku-c.co.jp

■□□-----

▼創育クリエートHP▼

<http://www.soiku-c.co.jp/>

[事業内容]

広報ツール制作、WEB コミュニケーション、
教育メディア事業、広告代理、IT ソリューション
などの事業を展開しています。

■広報ツール制作

<http://www.soiku-c.co.jp/contents1.html>

■広告代理業

<http://www.soiku-c.co.jp/contents4.html>

■情報誌編集

<http://www.soiku-c.co.jp/contents3.html>

■WEB ページ制作

<http://www.soiku-c.co.jp/contents2.html>

■IT ソリューション

<http://www.soiku-c.co.jp/contents5.html>

[採用情報]

現在、外部パートナーを募集しています。

<http://www.soiku-c.co.jp/employment.html>

-----■□□

次回も皆さまにとって有益となるような教育情報のメールマガジンを配信できるように努めて参りたいと思います。